

# あおもり

**特集 青森の魅力再発見** ..... P1~2  
 私のイチオシ癒しスポット大募集・頑張る!あおもリスト ..... P3  
 平成24年度当初予算 ..... P4  
 平成21年度青森県県民経済計算・申吾のほっとコラム ..... P5  
 いっしょに取り組もう犯罪のない安全・安心なまちづくり ..... P6  
 親子にやさしい街マップ・春の山菜採り等遭難事故の防止 ..... P7  
 インフォメーション ..... P8



情熱  
特集

## 行くと、新しい八戸を発見。 「はっち」は、街なかから元気を 発信します

八戸ポータルミュージアム はっちの皆さん

まちを元気にするために  
「はっち」は市民とともに  
歩いていきます

**A.** はっちは免震構造で、幸い被害はなく、自家発電で照明とストロボの電源も確保できたため、臨時避難所として約300人の方を受け入れました。近くの飲食店の方たちが、鍋やおにぎりを作ったんですね。ある旅行客の方は、帰り際に「八戸の皆さんの温かさに感激しました！」と涙ながらに語り、記念に買ってもらった郷土玩具の八幡馬を抱きしめて帰られました。

**Q.** 開館一か月後に東日本大震災が発生しましたが。

**A.** 末広がりの8にこだわる「はっち」では、今年2月11日の1周年記念の日で、驚くことに888、888人目の来館者をお迎えすることができました。市の調査によると、この1年で中心市街地の歩行者通行量が前年比3割増、中心市街地への新規事業所23軒。はっち開館が街の活性化のきっかけとなっているとうれしく思っています。

**Q.** 学校帰りの高校生や子育て中のお母さん、お年寄りなど、幅広い年代の市民が集い交流することで、館内や街に賑わいを感じられます。観光客は、南部弁が飛び交う会話や住民の普段の暮らしが新鮮に感じられるようで、「自分の街にもこんな施設が欲しい」とおっしゃいますね。

**Q.** 八戸の文化観光拠点としてオープンしてから1年が経過しましたが、反響は？

**A.** はっちは、訪れるたびに違う顔を持つ街を元気にする施設でありプロジェクトです。関わってくださる多くの皆さんに達成感を抱いてもらいながら、市民力により発展し続ける施設にしたいと考えています。

**Q.** 今後、はっちの進化が楽しみです。

**A.** 「地域の資源を大事に思いながら新しい魅力を創り出すところ」をテーマに、街づくり、ものづくり、文化芸術、観光の振興、地域の子育て支援の拠点として多様な機能を持つ施設です。待ち合わせや休憩に利用できるカフェやスタジオ、工房兼ショップ「ものづくりスタジオ」、茶会や踊りに対応できる「和のスタジオ」、木の遊具を備えた「こどもはっち」、滞在型創作活動をサポートする「レジデンス」などがあり、街なかを散策するように楽しめます。

**Q.** この施設の魅力は？

**A.** 震災後も、月1回の定休日以外は休むことなく開館し続けています。「ここから元気を発信して行こう」とを合言葉にスタンプが一丸となり、チャリティーライブや、八戸東高校の書道ガールズによるパフォーマンスなど、復興へ向けた取組を続けています。